

総合的な学習の時間（キャリア教育） 学習指導案（簡易版）

展開学級 2年X組  
 授業者 長谷川 雅子  
 (Seedlings of Chiba 様協力)  
 展開場所 2年X組教室

1 単元名 「ひな社長の挑戦」アントレプレナーシップ教育の実践  
 内容 職業や自己の将来に関する課題

2 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①起業模擬体験を通して、自分の職業観や勤労観を拡げ、社会参画の考えをもとうとする。  
 【主体的に学習に取り組む態度】 ☆自己理解・自己管理能力
- ②起業模擬体験を通して、他者と自分の考えを交流しながら、アントレプレナーシップを発揮する。  
 【思考・判断・表現】 ☆人間関係形成・社会形成能力

(2) 本時の展開 (T1:Seedlings of Chiba 阿部様 T2:長谷川)

時	時配	学習活動と内容	教師の支援・留意点 ◇評価
1 時 間 目	導入 10分	<b>1. 本時の学習活動の把握</b> ○アントレプレナーシップ（起業家精神）教育について知る。	・ T2:①記録用②配信用のタブレット端末を準備しておく。 ・ T2: 就労や生き方の新しい視点を得る機会であることを説明する。
		学習活動：起業体験でアントレプレナーシップを高めよう	
	展開 35分	<b>2. 教材のストーリーと役割の把握(10分)</b> ○授業者（T1）の自己紹介を聞く。 ○「ひな社長の挑戦」アニメ①(3分55秒)を視聴する。 →ストーリーの舞台設定や登場人物の紹介。 ○アニメ②(45秒)を視聴する。 →AI シラベの機能を使って2025年のひなと2020年代の生徒が時空を超えて繋がる。ひなが生徒に企業型部活の立ち上げの際の協力をして欲しいと頼む。 ※ひなの依頼を受けるか否か問いかけ、スライド上で「はい」か「いいえ」を選択する。	・ T2:学習活動を提示する。 ・ T2:T1を紹介する。 ・ T1:授業者のパソコンをモニターに接続し、資料を投影する。 ・ T2:机間巡視で、生徒の試聴の様子を観察する。
<b>3. 課題把握(10分)</b> ○アニメ③(36秒)を試聴する。 →ひなが生徒へ、新しく立ち上げる企業型部活の新規事業内容を考えて欲しいと依頼する。 ○個人で資料[1-1]を読む（5分程度）			
		学習課題：虹ヶ崎市の特色を活かした事業内容を考えよう	

時	時配	学習活動と内容	教師の支援・留意点 ◇評価
1 時間目	展開	<b>4. 事業内容検討・グループ発表準備(25分)</b> ○4人グループを作る。 ○資料[1-1]を読み、虹が崎市の特色を活かした事業内容を考える。 ○次の時間に発表ができるよう、グループで考えをまとめる。 ・ワークシート[1-2]をタブレット端末（ギガタブ）で写真撮影し、モニターに投影して発表を行う。 後に、Google クラブルームに画像を掲載する。 ・グループ全員で前に来て、それぞれ分担して説明をする。 ・発表時間は1グループ2分とする。 ・何をねらいとして、どんな特色や工夫を取り入れたかを簡潔に説明できるようにする。	・T1:資料[1-1]虹が崎市資料配布 ・T2:学習課題を提示する。  ・T1:ワークシート[1-2]事業計画書配布。 ・T1/T2:机間巡視し、事業計画書作成の様子を観察する。考えが滞っているグループには、社会科で学習したことを活用できないか助言する。 ・T2:次の時間の発表のしかたを説明する。 ◇T2:起業模擬体験を通して、他者と自分の考えを交流しながら、アントレプレナーシップを発揮しているか。 <b>【思：机間巡視】</b>
2 時間目 本時	導入 2分	<b>1. 1時間目の内容を確認する。</b> ○ストーリーの舞台設定や登場人物、虹ヶ崎市の特色を活かした事業内容を考えるに至った経緯を確認する。	・T2:キャリア学習ふり振り返りシートを準備させる。 ・T1:1時間目の内容を説明する。
	展開 35分	<b>2. 事業内容検討・グループ発表準備(10分)</b> ○事業内容をまとめ、発表準備をする。 ○4人でどの項目を発表するか役割分担をする。 ○完成した事業計画書の写真を撮り、Google クラブルームにアップロードする。 ○全体で、2分間の予行練習の時間を与える。	・T1:パソコンをクラスの教員用端末と繋ぎ変える。 ・T2:発表のしかたを説明する。 ・T2:タブレット端末（ギガタブ）でワークシートを撮影し、モニターに投影する。

時	時配	学習活動と内容	教師の支援・留意点 ◇評価
		<p><b>3. グループ発表(25分)</b></p> <p>○各グループ2分で発表する。 4人で分担して説明する。</p> <p>○他グループの発表を聞き、自分のグループの発表内容と比較する。</p> <p>○授業者から発表へのフィードバックを受ける。 《フィードバックの観点》</p> <p>(1)虹が崎市の三大問題のどれを解決しようとしているのか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内定住者の減少</li> <li>2 漁業の衰退</li> <li>3 観光業の衰退</li> </ol> <p>(2)他のグループとの比較 ターゲットが同じでも事業内容が異なっている、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアの独創性</li> <li>・事業の決定理由が根拠（市が抱える問題の解決や市の特色など）に基づいているか。</li> </ul> <p>○グループ発表を自己評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T2:次の発表グループを待機させ、効率よく発表ができるよう促す。</li> <li>・T2:全体に話を聞く姿勢をつくるよう指示を出す。</li> <li>・T1:各グループの発表内容がフィードバックの観点に基づいてなされているかを確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T2:生徒にフィードバックの観点を基に、発表内容を自己評価させる。評価基準を提示する。</li> </ul>
	<p>まとめ 10分</p>	<p><b>4. まとめ</b></p> <p>○アニメ④(1分40秒)を視聴する。 →「観光漁業」を事業の中心として観光漁業ツアーを行うことや、会社名が「天漁社」となったこと、活動理念などが決定する。</p> <p>○アニメ⑤(1分10秒)、アニメ⑥(53秒)を視聴する。 →観光ツアーを考えるために、観光協会の「沖野さん」と「助川さん」に聞き込みに行く。</p> <p>○アニメ⑦(14秒)を視聴する。 →新規授業が動き出し始め、ひなはこの先の起業準備に自信を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1:クラスの教員用端末から自分のパソコンに繋ぎ変える。</li> </ul>

時	時配	学習活動と内容	教師の支援・留意点 ◇評価
		<p>○授業者の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 助川さんの話で、「起業」「事業」「企業」という言葉が出てきたが、今回ひなさんは虹が崎市の特色を活かし、課題を解決するための事業を起こし、起業をしようとしていた。おそらく「仕事」「職業」という言葉は聞いた事があるが、「起業」や「事業」という言葉はあまり聞いた事がなかったのではないか。</li> <li>● 将来の事を考えた時に、起業しようという選択肢はない人が多いはず。何かの職業に就く・会社に就職するだけでなく、ひな社長みたいに何か自分で事業を起こすというのも職業の選択の一つになるという事を知ってもらえたら嬉しい。</li> <li>● もちろん皆が起業するという事にはならないと思うが、会社に勤めたとしても、その会社では「事業」を行なっていて、それは誰かのためのものであったり、社会の抱える問題を解決するためのものであったりするはず。これから職業講話でいろいろな仕事の話を書く際にも、そういう視点を持って話を聞いてもらえたら良いのではないか。</li> </ul> <p>○キャリア学習振り返りシートに学習記録をまとめる。</p> <p>○本単元の感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ T1:アントレプレナーシップ教育のねらいやキャリア学習の大切さが伝わるよう心がける。</li> </ul> <p>◇T2: 起業模擬体験を通して、自分の職業観や勤労観を拡げ、社会参画の考えを持つようとするか。 【主：机間巡視、振り返りシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T2:机間巡視で目標にせまることができた生徒を見つけ、全体で発表させる。</li> </ul>

### (3) 本時の評価

①起業模擬体験を通して、自分の職業観や勤労観を拡げ、社会参画の考えをもとうとしたか。

【主体的に学習に取り組む態度】 ☆自己理解・自己管理能力

②起業模擬体験を通して、他者と自分の考えを交流しながら、アントレプレナーシップを発揮したか。

【思考・判断・表現】 ☆人間関係形成・社会形成能力